多様なマイノリティの排除と包摂に関する社会学的研究

国際関係学科　二羽　泰子

● 連　絡　先　　E-Mail：futaba@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード　排除と包摂，マイノリティ，複合差別，インクルージョン

マイノリティの排除と各国の地域社会との関係性について、社会学的視点から、フィールド調査および文献調査の研究に取り組んでいる。
例えば、
１．マイノリティが、障害の有無、性別、人種、民族、出身国、植民地支配の歴史等の差異に伴って経験する排除は、いかなるプロセスで起きているのか、
２．多くの国で歴史的に排除されてきたマイノリティグループが排除されていない社会ではなぜ排除が起こらないのか、
３．排除されてきたマイノリティグループはどのように社会の変革に関わってきたのか、
などについて、現在研究中である。

大阪大学、東京大学、鳥取大学等の研究者との共同研究も複数手がけており、それぞれ出版に向けて研究を続けている。

個人研究においては、セネガルとタイにおけるフィールド調査、共同研究においては韓国とフランスでの簡易調査および研究交流を現在実施中のほか、国内における教育や社会運動との比較も行っている。